

産業医と外部医療資源との連携に関する研究

－臨床主治医の提供情報を参考とした事後措置とその返信－

主任研究者 三重産業保健推進センター所長 滝川 寛
共同研究者 産業保健相談員 小西泰元
産業保健相談員 西城英郎
住友電装（株）産業医 秋山俊夫
本田技研工業（株）産業医 尾辻典子
三重産業医会長 木下勝也

1. はじめに

平成11年から三重産業医会と三重産業保健推進センターとが共同研究を開始し、交替勤務者の健康調査及び深夜勤労働者の健康問題への対処に関する検討を行い、更に復職者や有所見者の交替勤務の可否に関する事例検討を行ってきた。その中で産業医が臨床主治医に対して精査依頼を行ったものの、プライバシー保護を理由に臨床主治医から産業医宛の医療情報提供が拒否され、その後の健康管理措置に苦慮した事例が報告された。これに関わる問題としては、産業医、臨床主治医の間の信頼関係の構築、医療情報交換ルールの確立が不十分であることに起因すると考えられた。これを踏まえ平成13年度に「産業医と外部医療資源の連携に関する研究」を行い産業医と臨床主治医の間の医療情報交換書式の作成を行った。今回はこれらを基に、更に両者の連携を強化し、信頼関係をより深めるために、臨床主治医からの情報に基づいて、産業医が当該労働者に対する事業場内における就業上の措置及び健康管理上の配慮の概要を臨床主治医に返信するための書式の作成と試行及び職場内措置について臨床主治医の意見を求めた。

2. 調査研究方法

産業保健相談員及び三重産業医会有志からなる6名の研究班を組織し、書式作成・試行・問題点抽出・

改訂を行った。班会議は4回開催した。前回の調査研究結果から、情報提供対象疾患として、整形外科的疾患、生活習慣病及びメンタルヘルス関係が多く見られたのを加味して、それぞれ疾患別の返書書式を作ってはとの意見も合ったか、出来るだけ簡潔でわかりやすく、簡単に記入できる様に配慮して表1に示すような返書書式を作成し、医療情報依頼書、医療情報提供書とセットで試行を実施した。臨床主治医への返書に、表2に示すアンケートを添え、臨床主治医の意見を求めた。

3. 結果と考察

37事例の試行を行った。その内訳（表3）は筋骨格系、消化器系、消化器系、循環器系、神経及び行動の障害などが主であった。このうち医療情報交換が有効であったと考えられる事例は26例、経過観察中事例が4例、不成功事例が5例、不明2名であった。医療情報提供に対して産業医が行った職場内措置に対して概要を説明した産業医からの返書についてのアンケート調査（表4）では、産業医、臨床主治医の意思の疎通、信頼関係構築に効果があるとの回答が34件（91.9%）であった。この研究は、プライバシー保護を理由に、臨床主治医から産業医宛の医療情報提供が十分得られなかったことに端を発している。以前に作成した産業医から臨床主治医への依頼書式、臨床主治医から産業医への情報提供

書式と今回作成した産業医から臨床主治医への対処した産業保健上の措置内容を知らせる返書書式を用いて情報交換のルールを確立し、それに基づくアクションの積み重ねが、産業医と外部医療資源との連携強化につながると考えられる。今後はこの医療情報交換のルール化を目指すと共に、益々複雑化する労働保健の状況を踏まえ、産業医・臨床主治医の判断と立案に加え、いわゆるセカンド・オピニオンが求められる場合も増えてくると考えられる。セカンド・オピニオンの取り込みを次の課題として研究を更に進めていきたい。

表 1

診 療 情 報 提 供 の 御 礼

先生
産業医

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、先日は当社従業員_____男・女(大・中・小 年 月 日生)について診療情報を提供していただき厚く御礼申し上げます。

先生のご意見を基にしてプライバシー保護を配慮し、職場上司、安全衛生及び労務人事担当と調整して、下記のような就業上の措置を取りましたので、ここにご報告申し上げます。

謹白

記

① 就業上の措置 (記入例: 労働時間: 出張、残業、時間短縮 勤務形態: 日勤、交替 心身負荷: 軽作業、重負作業、対人関係等)

② 就業上の措置の期間

③ 健康管理上の措置 (記入例: 保健指導、主治医受診状況確認、産業医面談等)

④ その他

表 2

調査研究アンケート

1. 実施措置について

適切である

不適切である

どちらともいえない

2. この返信は産業医と臨床主治医の間の意思の疎通を図る上で

効果があると思う

あまり効果がない

わからない

3. この返信内容について

分かり難い

よくわかる

どちらともいえない

それはどの部分ですか

4. その他のご意見

表 3

症例まとめ			症例まとめ				
No.	疾病群	疾病名	転帰	No.	疾病群	疾病名	転帰
1	膠原病	再発性多発軟骨炎	軽快	20	消化器	急性胆嚢炎	軽快
2	メンタル	うつ病	軽快	21	消化器	肝硬変・食道静脈瘤・膽管癌・貧血	小康状態
3	メンタル	うつ病	軽快	22	消化器	直腸癌	小康状態
4	消化器	急性肝炎・肺結核	軽快・死亡	23	泌尿器	メザンギウム増殖性糸球体腎炎	悪化→休業
5	消化器・メンタル	糖尿病・鬱状態	療養中	24	メンタル	頭痛・不安神経症	悪化→休業
6	消化器	胃がん	軽快	25	整形外科	右膝内側側副靭帯損傷、内側半月板損傷	軽快
7	消化器	肝硬変・肝がん	小康状態	26	整形外科	背髄腫瘍	小康状態
8	脳神経系	てんかん	小康状態	27	整形外科	右膝蓋骨骨折	小康状態
9	循環器	狭心症	軽快→退職	28	脳神経系	頭椎椎間板ヘルニア	軽快
10	感覚器	難聴	小康状態	29	整形外科	左アキレス腱断裂	
11	筋骨格系	頸椎椎間板ヘルニア	軽快	30	消化器	膵閉塞	軽快
12	循環器	異型狭心症	軽快	31	膠原病	ベーチェット病(涙腺・肺動脈瘤が主症)	小康状態
13	脳神経系	脳梗塞	悪化→休業	32	消化器	膵腫瘍	小康状態
14	循環器	心筋梗塞・糖尿病・高血圧・高脂血症	経過観察中	33	泌尿器	左精巣腫瘍	小康状態
15	整形外科	左鎖骨骨折	軽快	34	消化器	直腸腫瘍	経過観察中→肝臓転移
16	整形外科	両側突発性大経骨骨頭壊死	小康状態	35	泌尿器	神経因性膀胱・左水腎症・大腸代謝性膀胱炎	小康状態
17	循環器	心室細動、拡張性心筋症	小康状態	36	整形外科	椎間板ヘルニア	
18	消化器	クローン病	経過不良	37	消化器	肝硬変・食道静脈瘤・肝がん	
19	呼吸器	肺がん	経過観察中				

表 4 アンケート結果

	件数	(%)
意志の疎通に効果あり	34	91.9
返信の必要性あり	32	86.5
産業医からの返書の内容が良くわかる	34	91.9